

J A 十日町

これまでの実践内容と成果

1. 販売力の強化（J A 十日町ブランドの強化）

全国的にも乱立する米のブランド品の中で不動のトップブランドである証明と確立を目指す。

- 十日町産魚沼コシヒカリの高品質・良食味をアピールする「米屋五郎兵衛」
- 品質分析、食味分析により優位性のアピール
- 特別栽培米の最上位ランク（1%程度）及び上位ランクについては「極」「特選」とし、米屋五郎兵衛のトップランナーとして位置付け、区分精算をすることで、生産者の所得向上を図る取組み

2. 園芸振興への取組み

稲作と園芸作物との複合営農により経営の安定化と生産者の所得向上を図る。

- 主要6品目（アスパラ、ニンジン、トマト、ナス、カボチャ、ネギ）の生産拡大
- 園芸二毛作および二期作による作期分散の取組み
（カボチャ+ブロッコリー、冬至カボチャ等）
- 各種支援事業による園芸新規・拡大に対する支援
「新潟農業応援ファンド」「J A 園芸振興活動費助成」「市単事業」の活用

目標値	平成29年目標	平成29年実績
米穀販売取扱高	34.0 億円	33.5 億円
園芸販売取扱高	4.07 億円	3.6 億円
米屋五郎兵衛取扱高	28.8 億円	30.5 億円
畜産販売取扱高	7.48 億円	8.4 億円



3. 農家所得の向上策

生産資材費等の低減によって農家所得の向上を図る。

- 予約購入価格メリットの明確化（当用より100円引）
- 予約の自己取り（さらに50円引）
- 直送メリットの推進（種類により80円～150円）
- 大口取引メリットの推進（金額により0.5%～2%割引）
- 大型規格商品、コスト低減商品の推進（1銘柄の取扱い H30年度より16銘柄）
- 品目集約による肥料価格の低減
（県下統一肥料 90を7品目に 15%程度低減予定）

4. 新規就農支援の取組み

高齢者や後継者を対象とした就農支援策として就農講習会を開催する。

- 稲作塾・園芸塾
- 直売所出荷のためのビギナー講座 等



5. 農業者との徹底した話し合いの実施

若手農業者の仲間づくりのための機会の提供

- 多方面における情報交換
- 後継者育成および地域農業振興のための意見交換

6. 食農教育の充実

次世代を中心に、農産物の大切さと地域農産物のすばらしさを伝えることによって農業への理解の深耕を図り、将来的な地域農業振興を目指す。

- ベジキッチンを利用した各種料理セミナー、食育セミナー
- 出前教室・どろんこキッズスクール 等



7. セミナーおよび相談機能の充実

生活の中で必要なセミナー・相談会の開催

- 女性大学
- 資産管理、運用相談
- 相続セミナー
- 終活セミナー 等

自己改革完遂に向けた取組み

1. JAの活動を知ってもらうための多様な手段を活用した広報活動の展開

広報誌や、ホームページ、SNSなどの各種媒体を通じた効率的な情報発信

- ホームページのリニューアルと定期更新
- 広報誌内での特別記事の掲載
- 地域密着の話題を提供する「支店だより」の定期的な発行
- JA事業のPRのための各部署と連携したプレスリリースの実施



2. 支店を軸とした協同活動の実施

- 地域行事へのイベント参加
- 地域美化活動
- 暮らしに役立つ講座開催
- 交通安全啓発活動

3. 事業間連携を意識した「JA十日町地域住民総サポート計画」の取組み

- 協同活動から事業伸長へ結びつけるきっかけづくり
- ステージアップ戦略の取組み



